

技術・家庭科(家庭分野)学習指導案

題材名「共に生きる家族・地域の一員として(幼児編)」

令和5年11月2日(木)第5校時
前橋市立東中学校 2年1組 指導者 杉山紀子

I. 題材の構想

1 題材の目標及び生徒の実態

	目標	生徒の実態
知識及び技能	・ 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割、幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解する。	・ 幼児と共に暮らす家庭はほとんどないが、幼児が成長するために家族の存在が大きいことを理解している。
思考力、判断力、表現力等	・ 幼児とのよりよい関わり方について問題を見だし課題を設定し、解決方法を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	・ 幼児に対しての関心は高く、問題を見だし課題解決に向けて、考えたり、調べたりすることができる。
学びに向かう力、人間性等	・ よりよい生活の実現に向けて、家族や地域の人と協働し、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。	・ 幼児についての学習の必要性を感じている生徒は多く、課題の解決にむけて、主体的に取り組み、実践しようとする事ができる。

2 評価規準

知識・技能	① 幼児の発達と生活の特徴が分かり子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。 ② 幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。
思考・判断・表現	① 幼児との関わり方について、問題を見だして課題を設定している。 ② 幼児との関わり方について考え、工夫している。 ③ 幼児との関わり方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④ 幼児との関わり方についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。
主体的に学習に取り組む態度	① 幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ② 幼児との関わり方について、課題解決に向けた一連の活動をふりかえって改善しようとしている。 ③ よりよい家庭生活の実現に向けて、幼児との関わり方を工夫し創造し、実践しようとしている。

3 指導及び評価、ICT活用の計画(全10時間:本時1校時) ※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	主
家	・ 家族にインタビューをして、自分の成長をふりかえる。内容をスライドにまとめる。(あ)		①	
1	・ 自分の成長のふりかえりや地域の思いを基に、幼児との関わりを考え、課題を立てる。(あ)(い)(イ)			
2	・ 課題を解決するための学習計画を立てる。(う)		②	
3・4	・ 幼児を撮影した動画を基に、幼児の心身の発達の特徴について話し合う。(あ)(ア)(ウ)	①		①
5	・ 幼児と中学生の生活時間を比較したり、ロールプレイをしたりして、幼児の生活習慣や、幼児にとっての家族の役割について話し合う。(ア)			②
6・7	・ 幼児の遊びの意義や幼児との関わり方を調べ、ふれあい体験計画を立てる。(あ)(ア)	②		③
8	・ 模擬ふれあい体験を行い、計画を見直す。(あ)		③	
9	・ 幼稚園等で、幼児とのふれあい体験をする。	②	④	
10	・ 幼児と関わった感想を話し合い、題材全体の振り返りをする。(あ)			

活用する学習支援ソフト (あ) Google スライド (い) Google forms (う) ジャムボード
活用するコンテンツ (ア) デジタル教科書 (イ) メンチメーター (ウ) DVD

II 本時の学習 (1/10)

- 1 ねらい 自分の成長の振り返りや地域の思いを基に、中学生と幼児との関わりを考えることを通して、幼児との関わりについて問題を見だし、課題を設定することができる。
- 2 展開

主な学習活動		指導上の留意点
生徒の反応・発言(S)	☆ICT活用〈分類〉	主な発問
<p>1. 事前アンケートの結果を基に本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <p>〈めあて〉 自分の成長のふりかえりや地域の思いを基に、中学生と幼児の関わりを考え、課題を立てよう。</p> <p>S: 幼児と関わりたいけれど、関わり方がわからないな。 S: 子育て中の地域の保護者の思いに応えるには、自分たちはどのように幼児と関わるとよいのだろうか。</p>		<p>○幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定するという目的意識をもつことができるように、事前アンケート結果から、地域の幼児と関わりたいという気持ちはあるが、実際にはほとんど関わりがないことに気付かせる。 ○幼児をもつ地域の保護者の思いを捉えられるようにするために、事前アンケートの結果を提示し、子育て中の保護者が中学生に望むことを読み取るよう促す。</p>
<p>2. 「自分の成長」について調べたことを発表し、感じたことや考えたことを話し合い、問題を見いだす。(20分)</p> <p>「中学生になるまでに、自分たちの成長や生活には、どのような人たちが関わってきたのでしょうか。」</p> <p>S: 家族には、いろんな所に連れて行ってもらったり、お世話をしてもらったりしたな。 S: 幼児が泣いてしまったらどうしたらよいかわからないから不安だな。</p>	<p>☆事前に調べてまとめた資料(幼児期の写真やエピソード等)を活用する。 〈再生〉</p>	<p>○家族だけでなく多くの人に支えられて成長してきたことや、これからは自分たちも地域の幼児の成長を支える側になることに気付けるように、家庭で家族にインタビューをして端末に保存した自分の成長の振り返りや、そこに関わった人たちをグループで伝え合うよう促す。 ○幼児との関わり方について問題を見いだすことができるように、今の自分にできること、まだできないこと、できるようになりたいことなどを視点に、話し合いで感じたり考えたりしたことを学習プリントに記述するように助言する。</p>
<p>3. 中学生と幼児の関わりを考え課題を立てる。(20分)</p> <p>「中学生として、幼児にどのように関わられるようになりたいですか。」</p> <p>S: 幼児のことを理解して、話したり遊んだりできるようになりたい。</p>	<p>☆できるようになりたいことを入力して共有できるようにする。 〈共同編集〉</p>	<p>○見いだした問題を共有し、自分たちが追究していく課題を検討できるように、幼児との関わりについて、自分たちができるようになりたいことをメンチメーターに入力するよう促す。 ○解決の目的となる自分と家族や地域とのつながりを明確にして課題を設定できるように、掲示された文言の共通点や相違点に着目するよう助言する。</p>
<p>4. 本時の学習を振り返る(5分)</p> <p>S: これからは地域を支える一員となれるように、中学生にできる幼児との関わり方を考えていきたい。</p>		<p>○次時以降の活動の見通しがもてるように、分かったことや考えたこと、今後、取り組んでいきたいことを視点に振り返りをするように促す。</p>

<振り返り>

S: 幼いころの様子を発表しあったら、家族以外にも様々な人に支えられて成長してきたことが分かった。今度は、自分も支える側となって地域の幼児と関わっていきたい。そのためには、幼児のことをよく知らないといけないので、どのようなことを理解しておくとういのかをみんなで話し合っ、課題解決に向けて学習計画を決めていきたい。

問題解決的な学習となるよう工夫した指導と評価の計画(全 10 時間計画)

過程	時間	○ねらい・めあて	・学習活動	◇評価規準〈方法〉		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
つかむ	家	○家族にインタビューをし、自分の成長を振り返ろう。	・幼い頃の写真やインタビュー内容をスライドにまとめる。			
	1	○自分の成長のふりかえりや地域の思いを基に、幼児との関わりを考え、課題を立てる。 学習課題を設定し、学習計画を立てよう。	・自分の成長をふりかえったスライドの発表をする。 ・自分の成長には様々な支えがあったことを理解する。 ・地域の一員として、幼児に対してできていないことやどんなことができるようになりたいか考える。 ・学習課題を設定する。		◇幼児との関わり方について問題を見だし、課題を設定した学習計画を立てたりしている。 〈ワークシート〉	◇幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 〈ワークシート・行動観察〉
	題材の学習課題 幼児も保護者も安心できるように、中学生として地域の幼児とどのように接するとよいのだろう。					
追究する	2	○課題を解決するための学習計画を立てる。 課題を解決するための学習計画を立てよう。	・前時に設定した学習課題やそれに対する考えを基に、学習計画を立てる。		◇幼児との関わり方について考え、工夫している。 〈ワークシート・行動観察〉	
	3 4	○幼児を撮影した動画を基に、幼児の心身の発達の特徴について話し合う。 幼児の心身の発達の特徴について理解しよう。	・幼児を撮影した動画を基に、幼児の心身がどのように発達していくか考える。 ・幼児との関わりで必要なことや工夫の仕方を考える。	◇自分の成長を振り返って発達の様子を考え、幼児の心身の発達の特徴について理解している。 〈ワークシート〉		◇課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 〈ワークシート・行動観察〉
5	○幼児と中学生の生活時間を比較したり、ロールプレイをしたりして、幼児の生活習慣や、幼児にとっての家族の役割について話し合う。 幼児が生活習慣を身に付けるために、必要なことを理解しよう。	・幼児と中学生の生活時間を比較する。 ・生活習慣の形成に向けた場面での幼児との関わり方を、ロールプレイを通して考える。 ・生活習慣の形成に必要なことを話し合う。	◇子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 〈ワークシート〉			

	6 7	○幼児の遊びの意義や幼児との関わり方を調べ、ふれあい体験計画を立てる。 幼児にとっての遊びの意義を理解しよう。	・幼児にとっての遊びの意義や遊びを支えるには何が必要か考える。・幼児とのふれ合い方で具体的な対応や言葉かけの仕方等の計画を立てる。	◇幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。 〈ワークシート〉		
追 究 す る	8	○模擬ふれあい体験を行い、計画を見直す。 ふれ合い体験での幼児との関わり方を考えよう。	・幼児とのふれ合い方で具体的な対応や言葉かけの仕方等の計画を見直す。 ・今までの学習を振り返り、計画を改善する。	◇幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。 〈ワークシート〉	◇幼児との関わり方について、実践を評価したり、改善したりしている。 〈行動観察・ワークシート〉	◇よりよい家庭生活の実現に向けて、幼児との関わり方を工夫し創造し、実践しようとしている。〈ワークシート・行動観察〉
	9	○幼稚園等で、幼児とのふれあい体験をする。 幼児とよりよい関わり方をしよう。	・計画に沿って、幼児と活動をする。		◇幼児との関わり方について、課題解決へ向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。〈行動観察・ワークシート〉	
ま と め る	10	○幼児と関わった感想を話し合い、題材全体の振り返りをする。 実践を振り返り、幼児との関わりについて考察しよう。	・ふれ合い体験で、幼児と関わった感想を話し合う。 ・題材全体の振り返りを行う。			

授業におけるICTの活用計画

1 題材 「共に生きる ～家庭・地域の一員として(幼児編)」 (A. 家族・家庭生活)

2 本時のねらい (1/10)

自分たちの生活を見つめることを通して、学習課題を設定することができる。

3 本時におけるICTの活用

○家庭で家族にインタビューをし、自分の成長を振り返り、スライドを作成する。

・自分を支えてくれた人についてスライドを作成し、保存・発表させる。



自分たちの現状を知って問題を見いだす①

○自分たちにはどのような支えがあったのかを振り返ることで、これからは家庭や地域の一員として支えていく立場であることに気付けるようにする。

→題材における問題を見いだすことにつなげる。

○スライドを発表して内容の共有をすることで、誰もが支えられてきたことを実感できるようにする。

○事前アンケートの結果を基に、本時のめあてをつかむ。

・ Google フォームでアンケートを実施。その結果をすぐに表示



自分たちの現状を知って問題を見いだす②

○事前に実施したアンケート結果を表示し、自分たちの現状や考え、地域にいる子育て中の保護者の思いなどを捉えさせる。

→現状を知ることで、題材における問題を見いだすことにつなげる。

○本時の学習活動を基に、生徒同士の意見を共有させて、題材の学習課題を立てる。

・ ジャムボード、メンチメーター等の複数人で同時に編集できるアプリを使用し、生徒の考えをまとめていく。



思いを共有・比較しながら考えを深める協働学習

○できていないこと、できるようになりたいことをジャムボード上に出し合い、分類することで意見をまとめさせる。

○他の班の意見を参考にして、自分たちの考えを広げたり深めたりさせる。

○他の班の意見を見て、クラスで一つの学習課題を立てられるようにする。

授業におけるICTの活用計画

1 題材 「共に生きる ～家庭・地域の一員として（幼児編）」（A. 家族・家庭生活）

2 本時のねらい

- ① 幼児の心身の発達の特徴を理解しよう。（3～4／10）
- ② 幼児とのふれ合い体験の計画を立てよう（6～7／10）
- ③ 幼児と関わった感想を話し合い、題材の振り返りをしよう（10／10）

3 本時におけるICTの活用

①幼児の動画を視聴し、幼児の発達の特徴に気付く。

- ・ 幼児の特徴を捉えた動画を視聴する。



動画視聴により理解する。気付いたことを共有する。

○デジタル教科書に収録されている、幼児の動画を視聴し、幼児の発達の特徴に気付けるようにする。

○気付いたことをジャムボードで共有して、それをまとめることで、幼児の発達の特徴を理解できるようにする。

・左の動画の写真は、開隆堂出版のデジタル教科書より

②前年の幼児とのふれ合い体験の様子の写真や動画を視聴し、自分たちの関わりの計画を立てる。

- ・ 実際の様子を視聴することで、活動のイメージをつかみやすくする。



計画を共有し、改善する。

○身近な先輩の様子や振り返りを知って学びを共有し、それを生徒自身の学びに活かせるようにする。

○ふれ合い体験の計画をオクリンクやジャムボードで共有することで、互いに改善策を見いだせるようにする。

③自分たちのふれ合い体験の写真や動画を視聴し、題材の振り返りを行う。

- ・ 自分たちの体験の様子を視聴することで、記憶を喚起させ、振り返りに活かせるようにする。



思いを共有・比較しながら考えを深める協働学習

○自分たちの学習課題と照らし合わせながら体験の様子を撮影した写真や動画を視聴させることで、具体的な振り返りができるようにする。

○自分たちの学習課題に対する答え（できるようになったこと・さらに学びたいこと）を共有することで、考えを広げたり深めたりできるようにする。